

6. スロットルグリップを閉じ、スタータボタンを押します。

エンジンが暖まっているときは、スロットルグリップを1/8から1/4ほど開き、スタータボタンを押します。

通常の場合これでエンジンがかかります。  
(エンジンがかからないときは、64ページ記載の要領で確認してください)

7. エンジンがかかったらチヨークレバーを“ON”の状態暖機運転をつづけ、回転が下がってきたらチヨークレバーを完全に戻して(“OFF”の状態)、スタートします。

※この車は、セーフティスタータ機構を採用していますので、チエンジンが入った状態では、エンジンは始動しません。但しこの状態でも、クラッチレバーを握ればエンジンは始動します。

### 注意

- ・スタータボタンを押して5秒以内にエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。  
これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- ・無用の空ふかしはしないでください。  
ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジンにも悪影響を与えます。

### 注意

- ・排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、せまい場所での始動は避けてください。